



ふうの木のある学校からⅡ

高鍋町立高鍋西小学校 学校だより 4月号② 文責 校長

5年生でがんばりたいこと

5年 黒木 空愛

わたしは、この4月から5年生、高学年になります。そこで、どんな姿になりたいかを考え、「下級生の手本となる5年生になる」という目標を立てました。

そして、この目標を達成するために3つのがんばりたいことを決めました。

1つ目は、「授業を一生懸命受ける」ことです。姿勢を正しくしたり、人が話しているときは、目を見てうなずきながら聞いたりしたいです。

また、友だちと話し合いをするときも、自分の考えを伝えられるようにしたいと思います。

2つ目は、「何事にも全力で取り組む」ことです。わたしは、4年生のとき、できないことがあると、すぐにあきらめていました。

時間はかかるかもしれないけど、先生や友だちに聞いてチャレンジすることが大切だと思うようになりました。

5年生では新しい学習や委員会が始まります。苦手なことがあっても最初からあきらめるのではなく、全力をつくしたいと思います。

3つ目は、「時間いっぱいそうじをする」ことです。今までは早くそうじが終わったら、すぐに後片付けをしていました。しかし、時間いっぱいそうじをする大切さに気付いたので、5年生では、自分でできるところを見つけて、すみずみまできれいにしたいと思います。

「下級生の手本となる5年生」を目指して、今日から3つのがんばりたいことに取り組みます。

そして、高学年として学校を引っぱる一員になれるよう、決めたことを続けていきたい、と思います。

4年生でがんばりたいこと

4年 永友 海菜

わたしには4年生で特にがんばりたいことが2つあります。

1つ目は、早起きです。

わたしは、朝早く起きることが苦手です。もし起きるのが遅くなってしまったら、学校に遅刻してしまいます。

そして、先生や友だちに心配をかけてしまいます。だから、自分で工夫や努力をして、早く起きることができるようになりたいです。

2つ目は、メディアの使い方です。

わたしは家で過ごすときに、タブレットでゲームをしたり、テレビを見たりする時間が長くなることがあります。

メディアを使用しすぎると目が悪くなるそうなので、気を付けたいです。

まずは、使う時間を決めてしっかり守りたいと思います。

早起きと、メディアの使い方をがんばりたいと思っているので、先生方、ご指導よろしく願います。

何かを変えるチャンス！

2名の代表児童の作文。

「自分の中の何かを変えたい！」という思いが伝わってくる内容です。

私たち大人も、その思いを受け止め、子ども達自らが変容を実感できるよう、トライやチャレンジをしなければと感じた次第です。

「子どもは、云（い）う様（よう）にはせずしてする様（よう）にするものなり」

<石井十次先生の言葉から>

入学式！

4月11日（金）。

晴天と穏やかな気候の中、69名の新生が本校に入学しました。

ピカピカのランドセル、すてきな衣装を身にまとい、名前を呼ばれて返事をする姿は、まさにこの時にしかない輝きに満ちていました。

1年生のお世話をする6年生の姿も印象的でした。

退屈そうな1年生を見つけては、ささやいて座らせたり、黙って寄り添ったりしていました。

5年生の終盤には若干心配される部分もありましたが、「6年生になった」という意識が一人一人に芽生え、それが言葉や行動に表れてきています。

まさに「よりよい変容」が見られていることを素直に喜んでいるところです。

1年生も、上級生のよいところをマネしながら「よりよい変容」が出てくることを見届けていきたいと考えています。

参観日

4月20日（日）。

本年度初めての参観日、雨天にもかかわらず、本校へ足を運んでいただき、ありがとうございました。

授業の様子、いかがだったでしょうか？

4月は、学習の仕方（姿勢、発表の仕方、ノートの書き方等）を指導し、できるようになっているかを点検している期間です。

私たち管理職も、日常的に授業の様子を巡視しているところです。

参観日は、

「子ども達に指導や支援の言葉がどれだけ届き定着しているか」を保護者目線で見ていただく、貴重な機会です。

時間の許す限り、子どもさんの様子を観察していただき、気になる点があれば、懇談や担当・担任との面談等においてご指摘くださると、ありがたいです。

教育基本法

PTA 総会の折にも紹介しましたが、教育の目的・目標に始まり、生涯学習の理念、義務教育、家庭教育、幼児期の教育、学校教育等、教育の基本に係る法律です。

特に、第10条（家庭教育）において、「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。」と示されています。

2児の保護者だった私。

「第一義的責任を果たしていたか」と問われると、「はい」と明言できる自信ありません。

ただ、「成人するまでは、保護者（親）としての責任を負う」という覚悟は、もっていたように思います。

大型連休

毎年のことですが、一番の心配事は、子ども達が事件や事故に巻き込まれてしまうことです。

暴走した車が飛び込んできたり、「ちょっとぐらい、いいだろう」と川や水辺に入って流されたり、何気なく投じた小石が通行中の車を傷つけたりする事案も全国で起こっています。

「もしも～だったら」と危険を予想し、生活してほしいと願っています。

二番目に心配なのが、生活リズムの乱れです。学校に登校するために起床する時刻が習慣付いてきた時期です。

夜更かしを続けたり、お昼近くになって起床したりすることは、子ども達の体だけでなく、脳の発達にもよくない影響を与えます。

